

平成 24 年 4 月 13 日

第 46 号

公益財団法人
川崎市シルバー人材センター
川崎市川崎区日進町 5-1
川崎市福祉センター 3 階
TEL 044-222-6886
FAX 044-221-8516

シルバー
かわ<http://www.kawasaki-sc.or.jp/>

平成二十四年度事業計画

三月二十六日に開催された平成二十三年
度理事会（第三回）・評議員会（第四回）
に提案した議案、①「平成二十三年度補
正予算」、②「会計処理規程の一部改正」、
③「平成二十四年度川崎市信用金庫短期
借入金契約」④「平成二十四年度事業計
画及び収支予算」、⑤「諸規定の一部改正」
などが審議され、いづれも全会一致で承
認・可決されました。

平成二十三年度

理事会（第三回）・

評議員会（第四回）の開催

センターは、「自主・自立・共働・共助」
の基本理念のもと高齢者の臨時的かつ短
期的な就業、及びその他の
社会参加活動
を、公益財団
法人として今
まで以上に積
極的に取り組
み、地域に信
頼され、社会
に貢献するセ
ンターを目指



し、本事業計画を基本方針により着実に
実施・推進してまいります。

基本方針

- ① 会員の増強と会員組織の充実
- ② 就業機会の確保と拡大
- ③ 普及啓発活動の推進
- ④ 各種講習会の実施
- ⑤ 安全・適正就業の推進
- ⑥ 調査研究活動の強化
- ⑦ 相談・情報提供の推進
- ⑧ 社会参加活動の推進
- ⑨ 無料職業紹介事業の実施
- ⑩ 一般労働者派遣事業の実施
- ⑪ 第 2 次中期計画事業の推進

平成二十四年度収支予算

平成二十四年度収支予算は、公益財団
法人移行に伴い公益目的事業計画に沿っ
て編成をしました。

収益の受託事業については、昨今の厳
しい経済状況と前年度事業実績の推移等
を考慮しました。

また、費用については、執行状況を精
査し、内部努力を徹底して、削減できる経
費は極力縮減を図りながら、自主財源の
確保を図るとともに、センター運営に必
要な財源については可能な限りメリハリ
を付ける事を目指しました。

平成 24 年度 収支予算

収入の部		(単位：千円)		
科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減	
受託事業収益	1,097,000	1,051,315	45,685	
受取会員登録手数料	1,000	1,000		
基本財産運用益	47	47	0	
特定資産運用益	71	50		
受取補助金	79,125	78,037	1,088	
受取寄付金	1	1	0	
雑収益	5	5	0	
経常収益計	1,177,249	1,130,455	46,794	
特定資産取崩収入（経常外）	0	4,600	△ 4,600	
投資活動収入計	0	4,600	△ 4,600	
借入金収入（経常外）	65,000	65,001	△ 1	
財務活動収入	65,000	65,001	△ 1	
収入の部合計	1,242,249	1,200,056	42,193	

支出の部		(単位：千円)		
科 目	予 算 額	前年度予算	増 減	
事業費	1,137,554	1,095,670	41,884	
管理費	39,695	41,385	△ 1,690	
経常費用計	1,177,249	1,137,055	40,194	
特定資産取得支出（経常外）	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
借入金返済支出（経常外）	65,000	65,001	△ 1	
財務活動支出計	65,000	65,001	△ 1	
支出の部計	1,242,249	1,202,056	40,193	
当期収支差額	0	△ 2,000	2,000	
前期繰越収支差額	0	2,000	0	
次期収支差額	0	0	0	

収支予算は次のとおりです。

平成二十三年度会員表彰式

平成二十三年度の会員表彰式を一月十九日(木)、「エポックなかはら」で開催しました。

長年にわたり会員の模範となる活動をした方々へ、理事長から受賞者一人ひとりに表彰状を授与し、記念品を贈呈しました。その後の懇親会では、入会当時の思い出話しや、就業中のエピソードと健康の維持方法など会員間の交流を含め、終始和やかに行いました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。
なお、受賞は29名でした。



平成23年度 会員表彰式 出席26名(場所:エポックなかはら)

『安全就業標語・ヒヤリハット体験事例』

募集で入賞

昨年9月から11月に、社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会主催の「安全就業標語」及び「ヒヤリハット体験事例」に応募した、当センターの会員が入賞し、3月21日に表彰されました。特に、「安全就業標語」では、北部事務所の斉藤明さんが優秀賞に、また「ヒヤリハット体験事例」では、中部事務所の勝又愛文さんが優秀賞に選ばれました。

『安全就業標語』優秀賞:作品

安全に目くばり気くばり今一度

北部事務所 斉藤 明さん

『ヒヤリハット体験事例』優秀賞

植木作業の巡回点検時の2時46分に東日本大震災の震度5強に遭遇。直ちに作業員に梯子の上から降りて建物から避難するように指示した。一人一人があわてず対処が出来る心構えが必要と感じた。

中部事務所 勝又 愛文さん

更に、『安全就業標語』で中部事務所の林啓雄さん、『ヒヤリハット体験事例』で南部事務所の山口純生さん、中部事務所の目黒利明さんがいずれも佳作に選ばれました。

地域班だより

「地域班」について、会報で各地域を紹介する第六回目は多摩区です。北に多摩川、南に多摩丘陵が広がる自然と緑地が調和した多摩区は、「多摩川梨」で知られるように果樹園の景観を多く残していました。が、都心への交通アクセスなどに恵まれ、大規模な宅地開発が進むとともに、大学等も立地し、地域との交流も積極的に行なわれています。また、多摩区にはたくさんの魅力的なスポットが存在し、生田緑地には、「岡本太郎美術館」、「日本民家園」最近では、「藤子・F・不二雄ミュージアム」が開館しました。

○多摩区東班長 矢辺 及將

新しい可能性を求めて仲間と精一杯努力したく思います。

○多摩区西班長 塚原 重

会員相互の連携を密にして、健康で生きがいのある日々を過ごせるようにしていきたいと思っています。



会員講習会等の報告

調理講習会

開催日 平成24年2月9日(木)

開催場所 てくのかわさき

受講者数 15人

「元気な高津をつくる会」の方を講師として、家事援助サービスを行う際、若い世代から高齢者までの世代間を越えた食事への配慮の仕方、衛生面の注意点、調理の工夫などを学習し、就業に活かす情報を得ることなどを目的として調理講習会を実施しました。

『受講者の感想』

- ・いつも同じレシピばかりで作っていたので目からうろこでした。
- ・健康食を中心に考えたことがありませんでしたのでとても良かったです。
- ・講義の説明もメニューもとても良かったと思います。



ヘルシーメニュー

- ・鶏肉と干し大根の味噌煮
- ・長芋入り蒸し焼き卵
- ・サバ缶のマリネ など

認知症サポーター養成講座

開催日 平成24年2月23日(木)

開催場所 川崎市福祉センター

受講者数 37名

認知症サポーター養成講座は、認知症について正しく理解し、認知症の人や家族に対して温かい目で見守ることを目的としたものです。川崎市認知症ネットワーク代表の柿沼矩子さんの、SOS劇団によるユーモア溢れた寸劇が上演され、また、認知症の基本的知識や対応と家族の気持ちなど、有意義な解説がありました。

参加した方の感想は、「認知症について正しく理解し、頭での理解ではなく、心や温かい見守りで行動したいと思います。」「このような講座を開くことで認知症を理解する人が増えることを望みます。」「などの多くの意見が寄せられました。

今後、当講座を受講した会員は、認知症サポーターとして各々の地域で認知症高齢者や家族を支えるよう活躍を期待します。



認知症サポーター養成講座

『SOS劇団』による寸劇など

家事援助全体会議の開催

開催日 平成24年2月27日(月)

開催場所 エポックなかはら

参加人数 40名

少子高齢化、核家族の増加、女性の社会進出など、私たちを取り巻く社会環境が大きく変化しており、地域の中には何らかの支援を必要としている方々が多くいます。このような背景からセンターの家事援助サービス事業は、地域のニーズに呼応して、年々実績を伸ばしています。今回は、家事援助サービス事業に就業している会員を中心に初めて全体会議を実施し、家事援助サービスの現況、会員用の「家事援助サービスハンドブック」の説明及び配布、各事務所ごとの懇談会を実施しました。今後、利用者の方のニーズに的確に対応し、支援を必要とする方々へのアプローチを積極的に推進すると共に会員相互の情報の共有化に努めます。

なお、当日、会員用エプロンとロゴマークの紹介をしました。



kawasaki.sc.

家事援助サービスロゴマーク

安全就業だより

◎平成23年度第2回 安全・適正就業委員会報告



平成23年度第2回安全・適正就業委員会を2月20日(月)に開催しました。

委員長から、安全就業の取り組みの強化により、事故件数が減少していること等の説明があり、引き続き提案議題①「平成24年度安全・適正就業対策実施計画」②「事故発生状況(平成23年4月から平成24年1月まで)」が審議され全会一致で承認されました。

また、社団法人神奈川県シルバー人材センター連合会の「安全就業推進員研修会」に参加した委員から、安全対策に取り組んだ事例報告がありました。

重点項目

一 安全・適正就業の推進

- ◇安全・適正就業委員会の活用
- ◇事務所安全・適正就業対策会議の活用
- ◇安全・適正就業委員及び対策員の育成

◇安全・適正就業基準の徹底

二 安全意識の向上の推進

- ◇講習会研修会の実施
- ◇安全就業の啓発
- ◇健康管理の充実

◎平成24年度「安全標語」と 「ヒヤリハットと体験事例」を 募集します

シルバー事業の安全就業の推進と会員の安全意識の向上のために、平成24年度の「安全標語」と「ヒヤリハットと体験事例」を募集します。

【応募方法】

用紙に住所・氏名・電話番号を記入の上、郵送、FAXまたは各事務所に御持参ください。

- ※①応募は一人一標語・一事例までとします。
- ②自作のものに限ります。

【締切り】

平成24年5月31日(木)

【送付先】

〒210-0024 川崎区日進町5番地1
(公財)川崎市シルバー人材センター

事業企画課

FAX 044-221-8516

選考の結果、採用された方には記念品を贈呈します。

平成23年12月～平成24年2月 主な事故発生状況

番号	区分	発生日	仕事の内容	性別	事務所	事故状況
1	就業中	12月5日	除草作業	男	北部	発注者敷地内駐車場で草払機を使用して除草作業中、飛んだ小石が少し離れた場所に駐車していた車の左側面後部座席部の窓ガラスに当たり、破損させた。
2	途上中	1月24日	屋内清掃作業	男	中部	就業先に向かうため、バス停留所に向かって歩いていたところ、雪で凍っていた路面で滑り転倒。右腕と右手甲を強打した。
3	就業中	2月18日	屋内清掃作業	男	南部	ショッピングセンター内通路でポリッシャーを使用して清掃作業中に店舗のポスターパネルに機械が接触し、破損させた。

12月から2月までの事故件数は3件で、うち2件が賠償事故となっています。

機械操作からの賠償事故は4月から累計して9件中6件と大変多くなっています。いずれも機械の使用に長けた会員が事故を起こしていることから、「自分は大丈夫」と過信せず、就業前に周囲の安全確認の徹底をしてください。

会員編集委員による取材

道路に自転車を 放置しないで

JRや私鉄の駅周辺は、市条例により路上駐輪禁止区域になっているところが多くあります。放置自転車の防止業務を推進する為に、市建設緑政局自転車対策室から委託された業務に「自転車等放置防止対策業務」という仕事で、当人材センターから多くの会員が「整理誘導員」として就業をしています。

筆者の所属する北部事務所の会員が担当する、JRと小田急の接続駅「登戸」の整理誘導員と共にその仕事の内容等を体験してみました。

2月某日、午後12時55分、市営登戸第2駐輪場で当日の担当者、丸山氏、星野氏と待ち合わせ、仕事の内容を確認した上で両者と一緒に巡視に出かけました。

何か所か放置自転車の多い場所があるので、某所を重点的に監視するようです。

南武線に沿った裏通りを行き、1台、2台と警告札を付けていきます。いつも一番放置自転車の多い交番横付近には、17台もの放置自転車がありました。駐輪禁止の立て札の前にも停めてあります。警告札を自転車のハンドルにホッチキスで止めて注意を促します。

続いて小田急線駅階段下付近には3台。小田急ガード下には1台もなく、珍しいことだと両整理誘導員が話していました。

書店前には沢山の自転車がありました、店舗

の敷地に片輪でも入っているのは警告札は添付しないそうです。

登戸駅前郵便局の前にも沢山自転車があります、来局中のお客様のものと区別が付かないのでパス。以前は、放置自転車はかなりあったそうですが、目の前に駐輪場が出来て少なくなったよう



です。

スーパの横の歩道にも2台。ここは大変に狭いので歩行者が迷惑します。

南武線の踏切とコンビニ付近、ここは路線バスの通り道、時にはバスを止めてしまうこともあり、ことさらに気を使うところです。今日は2台あり

ました。踏切を渡って右折、市営の駐輪タワーの前を通り、JR北口のエスカレーター下まで行きます。今日は1台も見あたりません。

ここまでで見回り区域は終了となりますが、途中の道でも、放置自転車があれば、歩行者や車の通行に邪魔にならないように整理、警告札添付をして行きます。

北口から駅通路を通って小田急ガード下まで戻り、1名はしばらく監視に立ち、路上駐輪しようとする人に声をかけ、駐輪場を案内したりします。もう1名も他の場所で同様のことをしています。

「登戸」は、自転車利用人口の多い所なので、以前はたくさん放置自転車があったようですが、駐輪場が増えたのと、整理誘導員の黄色のベストの効果が多大で随分少なくなったそうです。

しばらく監視の後、最初の場所まで戻り、警告札添付後もまだ動いていない自転車には、長時間放置の警告をします。

午後4時近くになると、第2駐輪場まで引き返し、当日の報告書を書いて今日の仕事の終了となります。

このチームは、今日のメンバーの他にベテランの伊勢田氏や吉越氏の4名でローテーションを組み、1名は南武線、中野島駅の周辺を担当して、毎日3名が業務を行っているそうです。

降雪、降雨以外の日は毎日3名、歩行者や車に注意しながら、歩き回り、大変神経を使う仕事だと思いました。健康に気をつけてまた明日も頑張ってください。

最後にご協力くださった4名の整理誘導員の皆様、ありがとうございました。

(取材) 会報編集委員・井戸 弘之

事務所だより

★南部事務所

☎2222-1550

◎安全・適正就業巡回指導

平成24年2月6日(月)

実施場所 福祉センター敷地内

南部事務所安全適正就業対策員2名(木村・吉川対策員)と

職員1名で植木剪定作業現場の巡回・指導を行いました。



当日の作業者3名は、常に安全確保を心掛け適正な就業を行っていました。今後も安全に留意して、作業をお願いします。

◎「宝寿会」世話人募集のお知らせ

会員の親睦を目的とする南部事務所「宝寿会」の世話人をやってみませんか?

お花見、忘年会、旅行等の企画をたて、実施す

るのが主な役割です。

世話人ご希望の方は、南部事務所までご連絡をお願いします。

★中部事務所

☎8222-5031

◎安全・適正就業巡回指導

平成24年2月16日(木)・3月13日(火)

事務所安全適正就業対策員により、駐車場管理や放置自転車対策業務などの就業現場を巡回・指導しました。

就業現場においては、会員が安全就業を心掛けており、概ね良好な就業状況でした。

◎リフォーム班の立ち上げについて

平成24年2月13日(月)

中部事務所では、大工、塗装、内装、表具、畳、エクステリアといった多様な職種の会員が、発注者からの仕事の依頼に対応しています。

最近では複数の仕事を依頼してくださる発注者もお

り、会員同士の連携強化の必要性が高まったことから、独自のリフォーム班を立ち上げ、最初の会議を開催しました。

会議では、リフォーム班のマニュアルを説明した後、お互いの顔が判り、連絡も取りやすくなったなどの意見があり、今後の円滑な連携が期待されます。

◎植木・除草班班長連絡会議

平成24年2月22日(水)

中部事務所の中でも最も受注件数が多い、植木及び除草作業は、同一発注者からの依頼も多くあり、緊密な連携を必要としています。そこで各班長、副班長が集まり、連絡会議を開催し受注状況等の情報交換を行いました。

今後は班員同士の連携強化のため、会員が自主的に交流親睦会を実施することなど、新たな認識の共有を図りました。

◎地域班活動報告

中部事務所管轄地域4班の班長、副班長により、2、3月にセンター普及啓発活動として、チラシを5,000部配布しました。

前回分と合わせ、1万部配布したことから、今後の受注開拓の反応が期待されます。

★絵画同好会のお知らせ

かねてより会報で募集している絵画同好会は、和気藹藹と楽しく、中部事務所会議室で毎月第2と第4水曜日の午後2時から2時間くらいで実施しています。

引き続き参加希望者を募集しますのでご希望の方は、発起人の会員名内（ナウチ）までご連絡ください。見学は自由です。お気軽にお越しください。

受講料は無料です。ただし、絵画に必要な道具や材料は、ご自身でご用意いただきます。



【申込み・問い合わせ】

発起人 名内 国雄 会員
電話番号 750-7916

★ 北部事務所

☎980-0131

◎第3回事務所地域連絡会議

平成24年2月16日(木)

今まで2回実施されたチラシポスティング活動、あさお区民まつりのPR活動等の報告後、3回目

のチラシポスティング活動の配布計画を話し合いました。

今回は、多摩区西地区班長の塚原重会員に活動を振り返っていただきました。

『相模原市シルバー人材センター視察では全体的に活動が進んでいるようでした。小単位のグループで活発に活動している様子がグループ長のお話から伺われました。

昨年度は各種行事に参加させていただきました。9月には新百合ヶ丘駅周辺のボランティア清掃を行い、10月にはあさお区民まつりでセンターのPR用のティッシュ配布を行い、受注開拓チラシのポスティングは、8月、10月、2月に行いました。最初は集合住宅を除くという条件で、大きい用地のある地域で一軒家を探すのに苦労しました。



個人的には市バス添乗観察、新聞社の世論調査の仕事をしました。昨年末からは、マンション等の清掃をさせていただいています。今後も自分のできることはまじめに取り組んでいきたいと思っています。』

◎第2回事務所安全・適正就業対策会議

平成24年3月23日(金)

対策会議では今年度発生した事故の分析や就業現場の巡回活動の内容を総括し、事故を起こさないためにどうするべきか話し合いました。

今回は、安全・適正就業委員の斉藤明会員に活動を振り返っていただきました。

『日頃お仕事ご苦労様です。この2年間安全委員として本部・事務所での安全対策会議への出席



及び植木や除草等の就業現場を巡回し、作業状況を視察させてもらいました。

夫々皆さん方が安全に心掛けて仕事をされており、お陰様で事故は減少してきており喜ばしいことですが、反面未だ月数件の就業中や就業途上での転倒・転落・接触等による傷害事故や物損事故が発生していることは残念に思います。予期せぬ事故はチョットした油断や気の緩み、また慣れ等による思い込みや過信により起こるものです。注意力や体力が低下している現実は免れません。決して無理はしないでください。

日々の体調管理も重要です。安全に注意し過ぎることはありません。ご自身の為だけではなくご家族や仕事仲間、また発注者の方々の為にも常に安全への気配り、周囲の状況への目配り、また夫々の作業での用具の点検整備や整頓、安全保護具類の着用等作業の安全適正就業基準を遵守され、今後とも事故未然防止と安全就業に心掛けて快い毎日をお過ごしください。』

公益財団法人への移行が完了しました

シルバーかわさき第43号でご案内しました公益財団法人への移行について、当センターは、平成24年3月21日に神奈川県知事より認定書の交付を受け、平成24年4月1日から「公益財団法人川崎市シルバー人材センター」に名称変更いたしました。

人事異動

4月1日付

【異動】

北部事務所長

榎本 実

南部事務所主査

吉川 和光

南部事務所主査

佐々木 美也子

配分金支払日のお知らせ

4月分から6月分の配分金支払日は次のとおりとなっております。

4月分	5月25日(金)
5月分	6月25日(月)
6月分	7月25日(水)

※配分金は月末で締めて翌月25日（金融機関が休日の場合は翌営業日）に指定された口座へ支払います。

当センターの事業が、公益法人としての健全性を認められ、社会的にも信用を得たことになりましたので、今まで以上に地域に根差し、地域に貢献し、その能力を発揮して、より一層の社会参加活動の促進を図るなど、会員とセンター役職員が一体となつて、活力ある地域社会の構築に努めていきます。

広告



プロフェッショナルDTP
株式会社アサヒプリンティング
【営業部】
〒212-0053
川崎市幸区戸手本町1-7-1
TEL(044)742-8812

表現することの大切さを
私たちは考えています。

広告

身体が喜ぶ毎日の食事
筋肉を元気に保つ適度な運動

あなたを健康に！
あなたの健康のために！
サポートします

健康づくりセンター



財団法人川崎市保健衛生事業団
川崎市川崎区渡田新町3-2-1
TEL044-333-3741 FAX044-333-3769
<http://www.kenkou-kenshin.or.jp>

広告

ご不要の
和本・木版画(北斎、広重等)を
お売りください

ジャンルは囲碁・将棋・教科書等、ご相談ください。当社では海外のお客様に、日本文化を紹介する目的で海外のコレクター、日本研究家に和本・木版画を販売しております。学術書、専門書の買取も歓迎です。

株式会社BKGは、シルバー人材センターの皆さまを応援しており、現在7名の方が就業しております。シルバー人材センターに登録されている方は

買取額20%アップとなります。

(株)BKG ブックナレッジグループ

〒215-0017 神奈川県川崎市麻生区王禅寺西6-28-22-302
TEL・FAX:044-986-9920(月～金 8:30～2:30)
E-mail:bookknowledge@tbm.t-com.ne.jp
一般書籍 <http://oikura.jp/shop/9753155>
教材セット <http://www.中古教材買取.net/>
雑誌・写真集 <http://www.写真集.jp/>

